

山口市データ連携基盤 API カタログサイト 操作マニュアル

1.3 版

2026 年 08 月 26 日

改版履歴

日付	版	内容
2023/03/22	1.0	新規作成
2024/03/22	1.1	全体 最新の画面仕様に合わせて一部の画面キャプチャを変更 改版履歴の追加 6 API利用ガイドラインの閲覧 ・API利用ガイドラインの閲覧方法を追記 10.3 APIのテスト実行 ・テスト実行では「GETメソッドのAPI」のみ実行可能であり、「PATCH, POST,DELETEメソッドのAPI」は実行できないことの追記
2026/01/27	1.2	全体 基盤のバージョンアップにより、APIカタログサイトのURLを変更 改版履歴の追加 3 ご利用方法 ・APIカタログサイトのURLを変更
2026/08/26	1.3	全体 最新の画面仕様に合わせて ログイン不要になったのでログイン関連の記載を削除 データモデル参照方法変更 API仕様参照方法変更

目次

1 APIカタログサイト概要	3
2 はじめに	3
3 ご利用にあたっての注意点	3
4 ご利用方法	4
5 APIカタログの利用	6
5.1 API仕様の確認方法	6
5.2 APIのテスト実行	8

1 APIカタログサイト概要

山口市データ連携基盤APIカタログサイトは（以下本サイト）は、山口市データ連携基盤が公開するAPIの利用方法をAPI利用者（開発者）向けに提示するサイトです。APIの利用方法、APIで公開するデータのデータカタログを掲載しています。

2 はじめに

本資料の画像はイメージになります。実際のイメージとは異なる場合があります。

3 ご利用にあたっての注意点

推奨環境は以下の通りです。Javascript を有効化した状態でご利用ください。

- Windows
 - ・ Google Chrome（最新版）
 - ・ Microsoft Edge（最新版）
 - ・ Mozilla Firefox（最新版）
- Mac
 - ・ Safari（最新版）

上記ブラウザ以外でアクセスされた場合には正しくサイトが表示されない可能性があります。

暗号化通信 https（SSL：ポート 443）によるご利用となります。

4 ご利用方法

本サイトを利用するには、ブラウザにて下記URLにアクセスしてください。

URL : <https://city-api-catalog.smartcity-pf.com/yamaguchi>

アクセスすると図1のトップ画面が表示されます。



図1：トップ画面

① ロゴ画像

図1の赤色枠線①をクリックすると、トップ画面に遷移します。

② 利用規約

図1の赤色枠線②「利用規約」をクリックすると、API利用にあたり遵守していただく事項が掲載されている山口市HP※へ遷移します。

※<https://www.city.yamaguchi.lg.jp/soshiki/200/133545.html>

③ API利用ガイドライン

図1の赤色枠線③「API利用ガイドライン」をクリックすると、API利用にあたり遵守していただくガイドラインが掲載されたPDFが表示されます。

④ データ連携基盤API一覧

図1の赤色枠線④「データ連携基盤API一覧」をクリックすると、山口市データ連携基盤が公開するAPIのインタフェース仕様画面へ遷移します。

⑤ データモデル

図1の赤色枠線⑤ではデータカタログごとにAPIによって操作可能なデータモデル設計書のPDFを閲覧できます。

データモデル設計書では以下を確認できます。

- ・ エンティティID、エンティティタイプの種類
- ・ エンティティに対する属性値一覧とその説明

5 APIカタログの利用

本サイトではOpen API Specificationに準拠した形式で、APIカタログを公開します。ここでは、APIカタログへのアクセス方法とAPI仕様の確認方法を記載します。

5.1 API仕様の確認方法

トップ画面（図1）の赤色枠線④にある「データ連携基盤API一覧」をクリックすると、図2のAPIのインタフェース仕様画面へ遷移します。

※赤色枠線①「1.0」はAPIのバージョンになります。

※赤色枠線②「OAS3」はAPIの仕様に関する記法のOpenAPI Specification Version 3.0.3の略になります。

API仕様を確認するため図2の赤色枠線③をクリックすると、図3のAPI仕様の詳細情報が表示されます。



図2：インタフェース仕様画面

図3では、API実行に必要な情報等の仕様を確認することが可能です。また、テスト実行が可能となります。テスト実行の方法については、次節で記載します。



山口市データ連携基盤APIカタログ 1.0.0 OAS 3.0

/specs/api-catalog.yml

Servers

https://api-ygc.dev.smartcity-pf.com

最新データAPI（FIWARE-NGSI v2 API）

NGSiv2形式の最新データを処理するAPI。

へ

GET /v2/entities エンティティを取得する

↑

当該システムに登録されているエンティティのリストを返却する。検索クエリにはid、type、地理情報のクエリなどが利用できる。複数のクエリを指定した場合はAND条件で検索し、すべての条件にマッチしたものを返却する。idとidPatternはそれぞれ同時に指定することはできない。
Fiware-Service、Fiware-ServicePathのヘッダはデータ格納先となる論理区画を示し、それぞれ指定必須。またAPIリクエストのログ管理の目的から、x-request-trace-idヘッダにAPIリクエスト単位でUUIDを生成し設定すること。
詳細なクエリの指定方法は <https://fiware.github.io/specifications/ngsiv2/stable/> を参照。

Parameters

Try it out

Name	Description
id string (query)	カンマで区切られた要素のリスト。IDがリストの要素のいずれかに一致するエンティティを取得する。idPatternとは同時設定できない。
type string (query)	カンマで区切られた要素のリスト。リストの要素のいずれかにタイプが一致するエンティティを取得する。
idPattern string (query)	IDが正規表現にマッチするエンティティを取得する。idと同時設定できない。
q string (query)	q=statement1;statement2;statement3 のように ; で区切られた文のリストで構成される検索条件。
mq string	mq=statement1;statement2;statement3 のように ; で区切られた文のリストで構成される検索条件。

図3：API仕様詳細

5.2 APIのテスト実行

ここではテスト実行の方法を記載します。

【事前準備】

- ・ 山口市よりAPIKeyが払い出されていること。
※APIKeyが払い出されていない方は以下のサイトから山口市に申請してください。
URL : <https://www.city.yamaguchi.lg.jp/soshiki/200/133545.html>
- ・ UUID (Version4) を生成していること。
- ・ 取得したいデータのデータカタログ (PDF) を開いていること。

テスト実行では「GETメソッドのAPI」のみ実行可能です。「PATCH, POST,DELETEメソッドのAPI」は実行できません。

「Try it out」(図4赤色枠線①) をクリックすると、赤色枠線②のAPIリクエストで設定可能なパラメータを入力することが可能となります。



図4 : 「Try it out」画面

「Required」（図5赤色枠線①）と記載されたパラメータについては、記入必須となります。データカタログに記載されているヘッダ情報（Fiware-Service、Fiware-ServicePath）や山口市より発行されたAPIキーを入力し、「Execute」（図5赤色枠線②）をクリックします。

fiware-service * required データ格納先となる論理区画を示す。
string (header) fiware-service

fiware-servicepath * required データ格納先となる論理区画を示す。
string (header) fiware-servicepath

x-request-trace-id * required APIリクエスト毎にUUID (Version4) を生成して設定する。
string (header) x-request-trace-id

apikey * required 発行されたAPIキーを入力する。
string (header) apikey

Execute

図5：「Execute」画面

「Execute」をクリック後、図6の赤色枠線①では、コード・スニペットのレスポンス結果が表示されます。図6の赤色枠線②では、サーバーのレスポンス結果が表示されます。

Execute Clear

Responses

1

Curl

```
curl -X 'GET' \
  'https://api-yc-dev.connected-pf.com/v2/entities?limit=1' \
  -H 'accept: application/json' \
  -H 'fiware-service: smartlifecycle_yamaguchi' \
  -H 'fiware-servicepath: /EvacuationSpace' \
  -H 'x-request-trace-id: 6a50145-7205-4feb-afdi-937ade8ce91' \
  -H 'apikey: 01ee091-0c6f-0064-c9f9-5d0b1399723'
```

Request URL

https://api-yc-dev.connected-pf.com/v2/entities?limit=1

2

Server response

Code Details

200

Response body

```
{
  "id": "jp.smartlifecycle.yamaguchi.EvacuationSpace.E3520300001201",
  "type": "EvacuationSpace",
  "Altitude": {
    "type": "Number",
    "value": null,
    "metadata": {}
  },
  "BuildingName_etc": {
    "type": "Text",
    "value": "",
    "metadata": {}
  },
  "CityAndCounty": {
    "type": "Text",
    "value": "山口市",
    "metadata": {}
  },
  "": {}
}
```

Response headers

```
content-length: 2670
content-type: application/json
```

図6：テスト実行のレスポンス結果